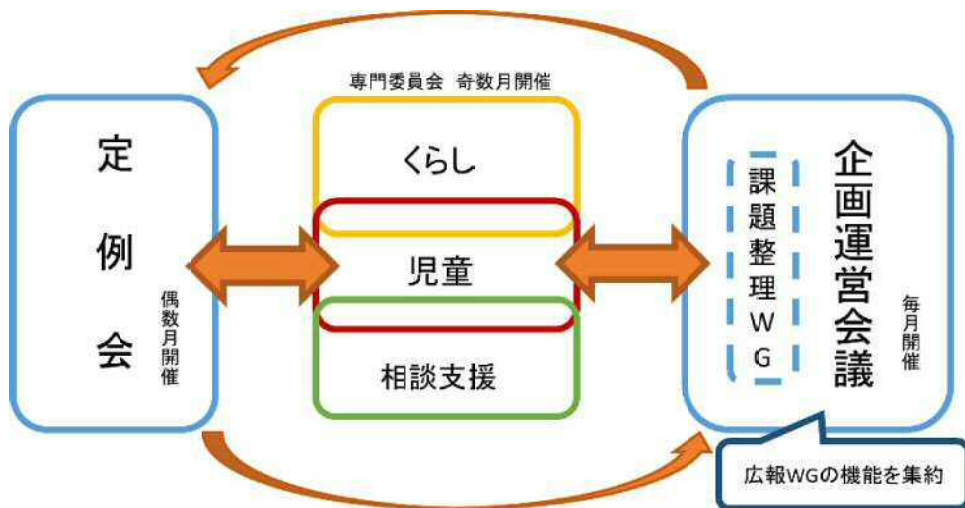


平成29年度 宮前区地域自立支援協議会



平成30年3月15日(木)
第4回川崎市地域自立支援協議会全体会議

平成29年度 体制、長期・短期目標(再提示)



長期目標 地域でつながり、みんなの暮らしやすさを広げる

短期目標 地域の資源情報や現状をわかりやすい形にして発信する

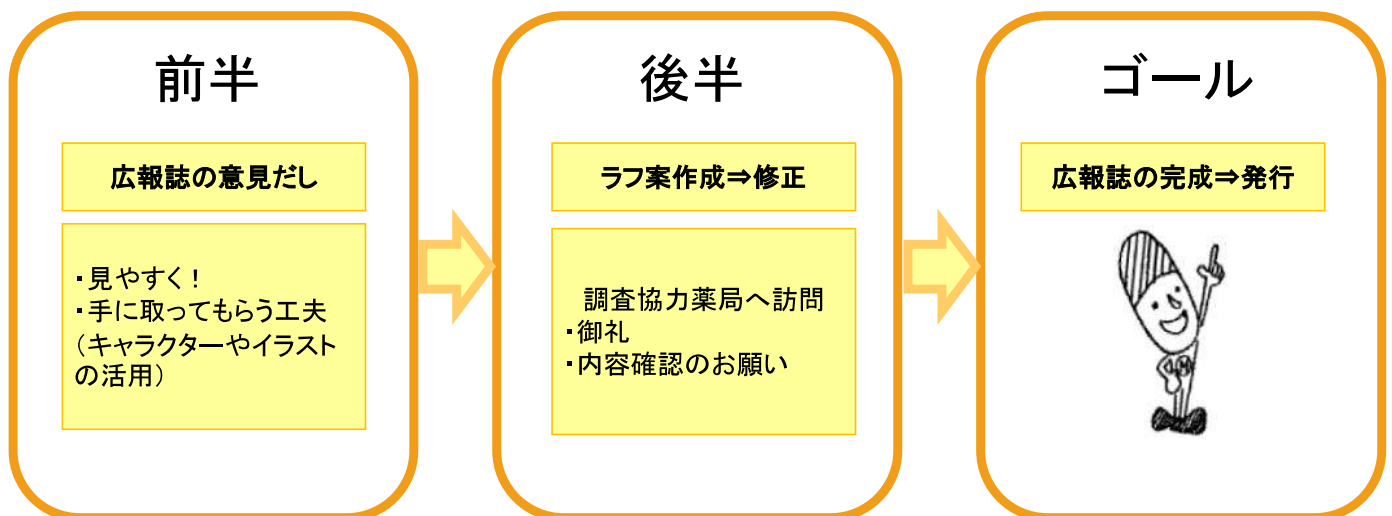
くらし委員会

短期目標 「防災(薬)」と「移動」に関する情報を整理して地域で共有する



くらし委員会「防災(薬)」

テーマ 「災害時の薬について」



くらし委員会「防災(薬)」



活動して わかったことや成果

- 地域の薬局に調査に出たことにより、薬についての理解を深めることが出来た。
- 薬局が身近な存在である事が分かった。
- お薬手帳を日頃から活用して行くことで、災害時にも役立つツールとなることが理解できた。
- 成果物を薬局にフィードバックして啓発活動が行えた。

課題や今後の取り組み

- 支援者等が、障害のある方一人ひとりに、どう支援するのか、リスクマネジメントも含めて考えていくことが必要。
- 備えも含めた支援のあり方について、周知していくことが課題

くらし委員会「移動」

テーマ

「移動に関する困りごとの解消に向けて」

前半

情報発信の方法や内容について検討

- ・今ある「移動」に関する制度やサービスの状況を整理して発信。
- ・当てはまらない困りごとについては、相談機関につなげられるように!

後半

広報紙(案)の作成

- ①フローチャート形式
- ②困りごとに該当する制度やサービスの情報提供

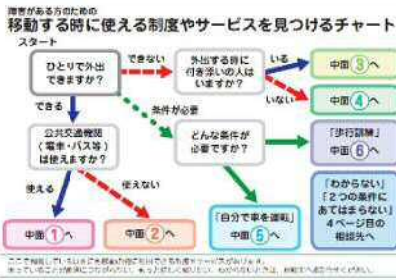
- ・支援者が相談者と面談する時に活用できるツールとして広報紙を作成

ゴール

広報誌の完成⇒発行

- ・区役所、相談支援センターの他に福祉施設や医療機関に配布。
- ・配布する時にツールの使い方についても説明していく。

くらし委員会「移動」



1	公共交通機関(電車・バス等)は使えますか?
2	自分で車を運転しますか?
3	外出する時に付き添いの人はいますか?
4	ひとり外出できますか?
5	「移行記録」『移行記録』「わからない」「2つの移行にあてはまらない」4ページ目の相談先へ
6	その他

活動して わかったことや成果

- 移動に関する問題や課題を整理していく中で、当事者や家族だけでなく支援者も新たなサービス等についての情報把握に漏れがあることがわかった。
- 移動だけでなく、困った時の相談先が周知できていないこともわかった。
- 広報紙を発行し、相談者のニーズを明確にするツールを作成し、相談機関につなげることができる内容を掲載することができた。

課題や今後の取り組み

- 広報紙が活用できているか、情報が広く伝わっているか等、効果測定をしていく必要がある。

児童委員会

短期目標

発達に心配のある児童の保護者等へ必要な情報を届けるために、現状を把握し整理する。

前半

課題整理表をもとに検討
・最新の福祉サービスは？
・支援が途切れてしまうのはなぜ？

・制度やサービスを知るだけでなく、人・地域・支援機関など、「つながりの薄い部分を見出し、連携強化のためにどうしたらよいか」を考えていく

後半

現状の体制について把握していこう！

- ① 福祉機関、わくわく、放デイ、日中一時など
- ② 教育機関
- ③ 医療機関、療育センター

3つのグループに分かれて聞き取り調査を実施
調査結果をもとに、「連携マップ」を作成。

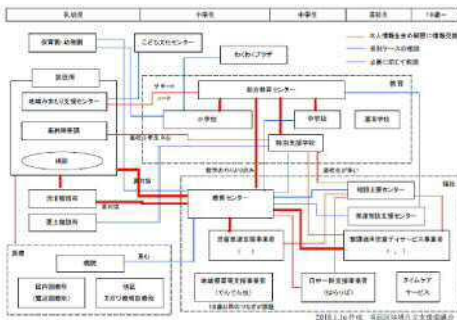
ゴール

「連携マップ」の完成

- ・相談の流れや連携状況等をマップに落とし込む。
- ・情報を整理し、問題を可視化し共有する。



児童委員会



活動して わかったことや成果

- 就学前までは、療育センターを中心に密な連携がある。就学期以降は、学校を中心とした教育機関の関わりが多くなることがわかった。
- 教育機関には、総合教育センター等、特別支援教育等に応じる様々な機能をもっている。

課題や今後の取り組み

- 今年度は、児童の取り巻く現状についての把握を行い、「連携マップ」を作成することができた。問題については可視化することができたため、どういった課題が抽出されるのか。「連携マップ」をもとに、課題検討し具体的な活動へつなげる必要がある。

相談支援委員会

短期目標 整理した相談支援の課題について解決手段を検討する

前半

「就労」に関する課題整理

- ・2つのグループに分かれて、「就労」をテーマに課題整理を実施。
- ・問題だし⇒問題の背景等の解釈⇒課題抽出⇒解決に向けた手段⇒論点の整理

後半

課題整理表の統合

- ・2つのグループでまとめた表を統合

28・29年度で整理したテーマの優先度を検討

- ・「一次相談」「計画相談」「医療」「地域移行」「住まい」「就労」
- ・「優先度」と「取り組みのしやすさ」の2つの評価軸を使用

ゴール

課題の優先度について
委員会内で共有



相談支援委員会

実施課題（現状）	当該品目テーマに対しての取組状況と課題（取組）
・ 相談支援センター、関係機関との連携、利用促進について ・ 相談支援センター、関係機関との連携、利用促進について	・ 関係機関との連携、利用促進について ・ 関係機関との連携、利用促進について
・ 相談支援センター、関係機関との連携、利用促進について ・ 相談支援センター、関係機関との連携、利用促進について	・ 関係機関との連携、利用促進について ・ 関係機関との連携、利用促進について
・ 相談支援センター、関係機関との連携、利用促進について ・ 相談支援センター、関係機関との連携、利用促進について	・ 関係機関との連携、利用促進について ・ 関係機関との連携、利用促進について

活動して わかったことや成果

- 「就労」について、どこから検討すべきか？という部分は、専門機関だけでなく関係機関も同じ認識できているということがわかり、共有することができた。
- 課題検討のプロセスについて理解することができた。

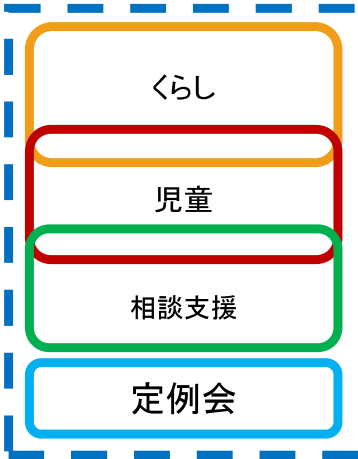
課題や今後の取り組み

- 課題を分析し優先度を検討することはできたが、短期目標の具体的な手段まで検討することができなかった。このまとめを企画運営会議に提出し、課題整理ワーキングで精査した上で、相談支援に関する課題に取り組んでいく必要がある。
- 構成員、委員会の持ち方については、過負荷とならないようにする必要がある。

区協議会としての長期・短期目標の達成度

長期目標 地域でつながり、みんなの暮らしやすさを広げる

短期目標 地域の資源情報や現状をわかりやすい形にして発信する



- 設定した課題解決の取り組みを進めることで、暮らしやすさを広げるための各種情報ツールを整えることができた。
- どのような連携やつながりができるといいのか？ということも判明してきた。



- 2月定例会で、上記の内容を共有したうえで、次年度の取り組みに向け、課題の優先度を確認していく。

多摩区地域自立支援協議会

平成30年3月15

日(木)

川崎市地域自立支援協議会 第4回全体会議

29年度目標

長期目標：さらに一步！
地域とのつながりを深めよう！

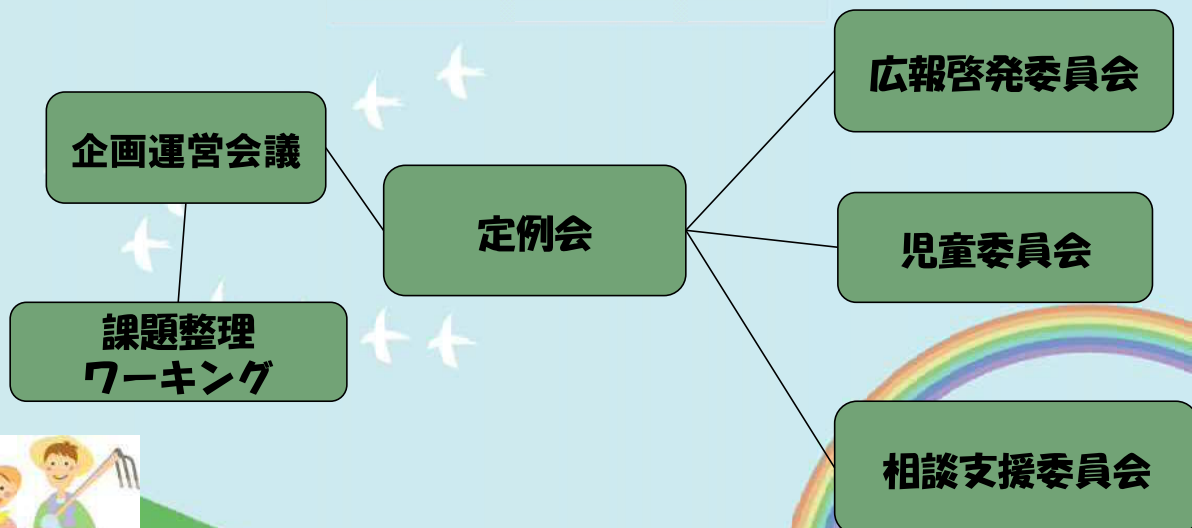
短期目標：知り合った人たちと
次の一步を進めよう！

GO!



平成29年度の活動体制

企画運営会議、各委員会は 月1回 開催。
定例会は 原則隔月 開催。



定例会 グループ討議テーマ

課題管理一覧表から抽出された課題の中から、最優先課題の3つについて話し合いの場を設け、次年度の委員会立ち上げの材料としました。

☞ 7月 「ヘルパーの不足について」

移動支援、行動援護のヘルパーが見つからない、行動援護を担える事業所が少ない、土日に利用希望が集中する、入浴介助の男性ヘルパーが不足している等の課題がある。

⇒ヘルパーが不足している現状を伝える(広報など)、男性ヘルパーを応援する集い、グループ支援にする、障害者サポーターの活用、見つからないのであれば 一人で楽しむ時間にする、サロンなど行先があるとよい等

👉 9月 「グループホームの課題について」

(市内で30%のグループホームが多摩区にある現状)

- ・週末の過ごし方(日中は職員不在のため外出サービスの利用を余儀なくされることも。それにより在宅のかたの支援が希薄な状況)
- ・空き情報が行き渡らない、新設や空き情報が出てもすでに入居者が決まっている状況があり公平ではない等の課題。

⇒週末の出かけ方の工夫(サークル活動の情報提供、ドライブ、ひとつの部屋に集まる等)土日世話人がいない理由を明らかにする、空き情報を更新できる仕組み作り、地域拠点事業を多摩区でも取り組めるような働きかけ、空き家を活用しグループホームにする等

👉 11月 「医療的ケアについて」

- ・医療的ケアのある方が利用できる施設が少ない(通所、短期入所など)。常時の看護体制がないことを理由に利用を断られてしまっている現状がある。

⇒まずは実態調査を行う(医療的ケアケースを受けている事業所への聞き取り...「看護師の体制」「看護師以外の職員がどうい
う対応をしているか」「通所にあたり条件があるのか」等)

- ・看護師の情報交換会、通所施設の看護師の交流会の企画(障施協の重心施設の集まりのNS交流会を参考に)。
- ・『医療的ケア』について、法制度や研修体系について調べる。
- ・予防についての取り組み

【広報啓発委員会】

自立支援協議会の活動と、地域のことがわかる広報誌を年1回発行。
6月の多摩ふれあいまつりで、協議会を知ってもらうための啓発活動を行い、アンケートを実施。

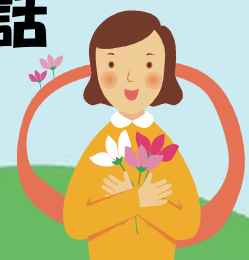


多摩区内のイベント等の発信→

【児童委員会】

多摩区内の児童関係機関がお互いに顔の見える、横のつながりが持てるように活動します。

- ・ こども達を支援している事業所の集い
10月30日（月）午前
当事者 当事者家族 支援者の話
- ・ 地域の支援学級を通じ学校と連携する方法を考える←未実施



【相談支援委員会】

- ・多摩区内の方に相談支援が行き渡るには、どのような方法があるか考えます。
- ・指定特定相談支援事業所との意見交換会
年2回実施
グループで討議。区役所、委託、指定特定事業所、当事者それぞれの立場から現状に対する意見を出し合った。



とびこもう地域の中へ つながろう 麻生

麻生区地域自立支援協議会

平成30年3月15日

第4回川崎市地域自立支援協議会全体会議 報告資料



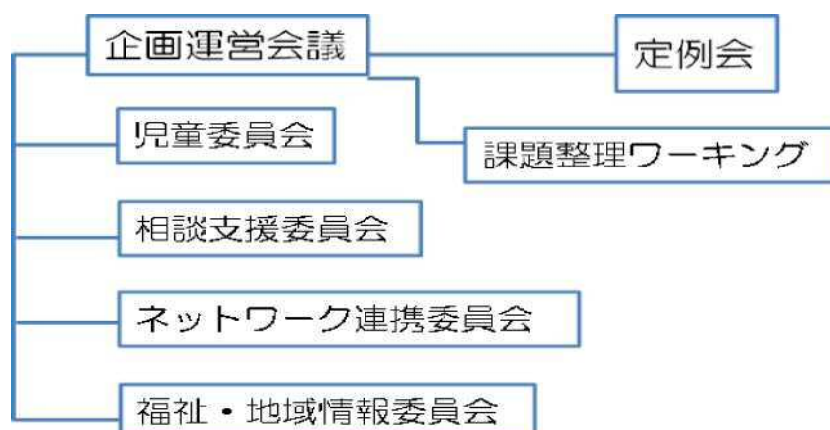
目標について

長期目標 「とびこもう地域の中へ つながろう麻生」

平成26年度～28年度で設定していたが、市協議会の長期目標設定に合わせ、29年度まで延長

短期目標 「3年間の活動を総括(評価)し、地域の課題を共有することで、次年度の取り組みを決める」

組織図



児童委員会

1. 活動目的 「こどものえがお つながるあさお」
2. 長期目標 「児童及び児童にかかわる方々のニーズに応じた情報発信をする」
3. 短期目標 「委員会内の各活動(出張相談・リーフレット・ピアサポーター等)について精査し来年度以降の委員会の方向性を検討する」

4. 活動実績・課題・今後の取り組み

出張相談	<p>(活動実績) 麻生区・多摩区の各小中学校長会へ出向き、出張相談会の説明をし、学校の担当者へも働きかけたが、結果として出張相談の依頼はなし。</p> <p>(課題・今後の取り組み) 出張相談は、実績は少ないが地域活動としてあるべき資源と考え、今後も区協議会として取り組む。教育分野を含め地域との顔の見える関係を作ることが、今後の活動には重要である。</p>
リーフレット	<p>(活動実績・課題・今後の取り組み) 制度や児童向けサービス等が複雑で行政発行冊子「ふれあい」ではわかりにくく、それらがまとまって知ることが出来る媒体がない。という課題から、まずは支援者が必要な情報を得られる支援冊子になるものを作ろうと取り組み始めた。その中、区協議会として作成したが、制度が変わることで行政からも内容について様々な意見があり、現在、発行は保留になっている。今後、作成を継続するか区協議会として検討中。</p>
ピアサポーターの集い	<p>(活動実績・課題・今後の取り組み) 偶数月に定期活動を行う。活動の中では、移行期や介護保険についての学習会も行った。</p> <p>今後のピアサポーターの活動について、当委員会としては、それぞれで同様の活動を行っている方もいるため一度終了にする等の意見も出たが、当事者ご家族としての意見等は当委員会が活動する上でとても重要であること。また、地域で暮らしている先輩ママさん達の力を必要としている当事者もいること等を踏まえ、活動方法を変えたピアサポーター活動を続けてもらい、区協議会として必要に応じて活動をとることを考えている。</p>

福祉・地域情報委員会

1. 活動目的 「障害のある方や身近な人に、情報を届ける」
2. 長期目標 「つながろうカードをきっかけに地域への障害理解を深める」
3. 短期目標 「地域のイベントでつながろうカードを配布し、必要としている方に相談先情報を伝える」

4. 活動実績

区保健福祉センター窓口、区内4か所の相談支援センターの連絡先が載った「つながろうカード」を1000部作成。

困りごとを抱えながら地域で暮らす方に相談先の情報を届ける活動を行った。

<配布先>

病院、クリニック、薬局、区役所、図書館、老人福祉センター、郵便局、金融機関、スーパー、大学、交番、駐在所、福祉事業所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、民生委員、福祉まつり、区民まつりなど

5. 課題・今後について

今年度は人が多く集まるイベント関係へも配布。目的を説明しながら渡すことが出来たため、広く情報発信ができた。また、福祉分野以外に向けた活動が展開でき、委員自身が地域とのつながりを意識することが出来た反面、活動をする中、当協議会、障害がある方への支援、相談先などについて理解が進んでいない実態がある。その他、地域には当事者団体や家族会など様々な資源があるため、区や相談支援センター以外の情報を盛り込んだパンフレット等が作成できると良かった。

「つながろうカード」は情報保障のツールとして確立できたため、委員会としての活動は終了。今後は、区協議会の活動として配布したり、それ以外に実施されるイベント等にて配布していく。

ネットワーク連携委員会

- 1.活動目的** 「障害のある人もない人も共に生きる社会をつくるため麻生区の福祉団体以外(企業や高校、大学等の教育機関)と連携できるようにつながりの方法や手段を考えていく」
- 2.長期目標** 「地域に活動内容を発信しコラボレーションできる関係を目指す」
- 3.短期目標** 「企業訪問インタビューと地域福祉交流講座の活動を継続し協議会の認知度を高め地域とつながる」

4.活動実績

企業訪問インタビュー	地域企業が福祉に関する貢献事業等への取り組みについて情報をいただき、互いに共有することで福祉意識の向上を図るため、麻生区:コスモ交通にインタビュー実施。ユニバーサルデザインタクシーの導入などの取り組みについて話を伺った。その内容は、連絡会だよりにて報告。
連絡会だより	あさおボランティア・当事者連絡会世話人会が発行元で毎月1回発行されている連絡会だよりに4月～3月号まで12回、協議会の活動紹介記事を掲載。 4月:地域自立支援協議会について、5月:ネットワーク連携委員会について、6月:企業訪問インタビュー1(イオン新百合ヶ丘店)、7月:企業訪問インタビュー2(イトーヨーカドー)、8月:企業訪問インタビュー3(ヴェルジジヴァンガード)、9月:企業訪問インタビュー4(向ヶ丘自動車学校)、10月:企業訪問インタビュー5-1(コスモ交通株式会社)、11月:企業訪問インタビュー5-2(コスモ交通株式会社)
地域福祉交流講座	今年度は実施せず。

5. 課題・今後について

- ・昨年度まで地域福祉交流講座を行っていた。参加者からは好評だったが、一般の参加者が少ないことや麻生区協議会の知名度が低く、広報面でも苦慮したことから今年度は見送った。今後については委員会単独開催ではなく、区協議会単位での開催を検討
- ・企業訪問インタビューについては、地域ともしっかりつながりをもてるように、企業だけでなく公的・私的にとらわれずに対象を広げるのも有効と考える。連絡会だよりに1年間連載することで、市民に活動内容を知っていただくことが出来たと評価する。
- ・今後は、当委員会活動で知り得た連携先との関係を維持しながら、今後の区協議会活動に活かしていく。
今年度の活動にて当委員会活動を終結する。

相談支援委員会

- 1. 活動目的** 「麻生区内におけるより良い相談支援体制を作り出す」
- 2. 長期目標** 「相談支援事業所の存在や取り組みを周知すること」
- 3. 短期目標** 「相談支援に関する課題の抽出を行い、その課題に合わせた取り組みを行う」

4. 活動実績

昨年度より設置された委員会で、活動内容を検討してきた。その結果、麻生区の相談支援センターのあり方や、相談員の意識に関わる課題を知る必要があると考え、相談支援センターを利用されている方々を対象とし、「相談支援の質に関するアンケート」を実施し、その結果から課題解決に向けた活動を検討する。

5. 課題・今後について

今年度はアンケートの集計と分析を中心とした活動を行った。アンケートの結果からは回答者の約70%近くの方が2年以上相談支援センターを利用。意見としては、「話をきいてくれる」など、満足しているという回答も多かったが、「説明がわかりにくい」「必要な時にケア会議を開いてくれない」などの意見もあり、相談員の姿勢・スキルに改善の余地があることがわかった。

利用者が相談員に対してケアマネジメントだけでなく、生活上の困難に向き合うための伴走者の役割を期待しており、回答者の多くがその部分に満足していることが分かったが、課題についての具体的な解決を求める声もあり、相談員には対応の迅速さや解決に向けた動きの明瞭さを期待していることも大きいと考えられた。

これらを踏まえ、来年度は相談支援の質の向上にむけた具体的な活動を行っていくことを検討している。

今年度の振り返り

振り返り・課題等

- どの委員会でも、地域に目を向ける意識を持ち、つながろうとする姿勢が見られ、年間目標や活動計画を立て、それを意識して取り組むことができた。
- 定例会にてグループワークを積極的に行い、構成員から沢山の意見を踏まえた活動をする事ができた。
- 反面、各委員会活動では、委員会に所属する構成員の主業務等が忙しく年間を通した委員会活動に十分参画できない方が見られている。
※実働人数が少ない、取り組む内容が多すぎる、異動等による構成員の変動。
→目標に達しきれない
- 委員会としての動きが中心になってしまい、協議会としての意識が弱い。
- 各委員会同志の人事交流、共通に取り組める内容の取扱い。
- 区協議会の広報→区協議会自体を知ってもらうこと
(協議会を知ってもらわないとイベントを企画しても人が集まらない)

ご清聴ありがとうございました